



特別講義

科学者の卵 養成講座

対象：中・高校生(参加費無料)

参加希望者は下記事務局まで

2009.9/30(wed) 東北大学川内キャンパス・マルチメディアホール

13:30~15:00 ※通訳付き

キュリー家およびジョリオ・キュリー家と科学
エレン ランジュバン=ジョリオ博士
(パリ大学原子核研究所・教授)

科学は冒険です。様々な国の研究者による科学における重要な発見や貢献は人類の知の財産を豊にします。1898年のピエール&マリ キュリーによるラジウムの発見、そして1934年のフレデリック&イレヌ ジョリオ=キュリーによる人工放射能の発見は人々を驚かせました。それは新しい時代を切り開く重要な発見が女性によってなされたからです。彼らの発見は大切な応用を生み出すことを認識し、キュリー家とジョリオ・キュリー家は科学の成果が人類のためなることのみ使われることを望みました。

講師紹介



パリ大学原子核研究所・教授
エレン ランジュバン=ジョリオ博士

1927年生まれ。ピエール&マリ キュリーの孫娘であり、フレデリック&イレヌ ジョリオ=キュリーの娘である物理学者ランジュバン=ジョリオ博士が、彼らの生活や仕事のエピソードを紹介します。



お問い合わせ▶生命科学研究科教務係内「科学者の卵 養成講座」実行委員会 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 TEL.022-217-5706 FAX.022-217-5704

<http://www.ige.tohoku.ac.jp/mirai/>

主催：東北大学 <http://www.tohoku.ac.jp>

後援：宮城県教育委員会・福島県教育委員会・岩手県教育委員会・山形県教育委員会・青森県教育委員会・秋田県教育委員会

※本講座は、独立行政法人 科学技術振興機構「未来の科学者養成講座」の委託事業です。

